

第3回 医療イノベーション会議 幹事会

日時： 2012 年9 月4 日(火)17:00-17:30

場所： 内閣府本府 5階 第5 特別会議室

1. 古川大臣より開会の挨拶

皆様のご協力のおかげで、医療イノベーション5か年戦略を策定し、日本再生戦略にも盛り込むことができました。今後は、この戦略を確実に実行することにより、最新の医療環境、そして我が国の経済成長、さらには日本の医療の世界の発信を実現してまいりたい。

この戦略をしっかりと実行していくため、来年度の予算要求は、5か年戦略決定後の初めての予算要求に当たるので、予算編成の過程から医療イノベーション推進室が中心となって、各府省横断的に予算編成に取り組んでいかなければならない。

今般の概算要求に先立ち、医療イノベーション推進室が中心となって、各省の垣根を超えた要求内容の横串調整を進めているので、今日は松本室長からこの点を御説明いただく。こうした取り組みは、この分野にかかわらず進めている概算要求前の府省横断的な調整の先行モデルの一つとなるものであり、医療イノベーションとグリーン成長戦略の2つの部分については、私の責任で各府省横断的な予算要求を行っていく。そのために政務の皆様方のお力をお借りしたい。

今日の議論を踏まえて、政務の皆様方が各府省の要求内容について、本日御説明のある視点に立って、施策の重複がないかどうか、必要な政策にちゃんと必要な要求額を要求されているかどうか、しっかり御精査をいただきたい。

2. 資料説明

松本室長より、資料2に基づいて「医療イノベーションの一体的推進」を説明。

3. 各構成員からの発言

○辻厚生労働副大臣

厚生労働省としては、創薬支援ネットワークの本部機能として不可欠な創薬支援戦略室を医薬基盤研究所のもとに設置することによる実用化の支援、また、がんや難病を初めとする重点領域の創薬研究開発の推進、再生医療製品や革新的医療機器についての実用化に向けた研究開発の支援などに重点を置いた来年度予算要求を行わせていただき、その実現を目指している。

今後とも国家戦略室、医療イノベーション推進室並びに各省と連携協力を図りながら、医療イノベーションの推進に全力で取り組んでまいりたい。